

創薬基盤推進研究事業 研究開発課題  
事後評価報告書

研究開発課題名	糖鎖認識多階層ナノDDS創成に関する研究
代表機関名	国立大学法人京都大学
研究開発代表者名	山下 富義
全研究開発期間	平成29年度～令和元年度

1. 研究開発成果

事後報告書（下URL）参照

<https://www.amed.go.jp/content/000065857.pdf>

2. 総合評価

・ 妥当である。

【評価コメント】

本課題は、ヒアルロン酸修飾、あるいはsLeX ミミック修飾のナノキャリアーでCD44を介するエンドサイトーシスの亢進、KDEL 配列を有するペプチドの取り込みの増加など、いくつかの有意義な知見を見出したことは評価できる。しかし、薬剤の保持能力に関わる研究テーマにおいて薬物によっては十分な成果が得られず、汎用性に関わる課題解決が必要と思われた。

今回の研究成果をもとに、汎用性の課題克服と実臨床への応用に向けて、さらに継続して進めて頂きたい。

以上